

中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（平成30年10月～12月期実績、平成31年1月～3月期見通し）

1 県内商工会地区における産業全体景況

売上高D Iは低下、採算D I、資金繰りD Iは改善































今期の産業全体の景況は、採算D Iが $\Delta 23.1$ 、資金繰りD Iが $\Delta 8.9$ となり、対前期比でそれぞれ0.1ポイント、3.5ポイント好転に転じたが、売上額D Iが $\Delta 14.6$ となり1.1ポイント減少し、2期連続で低下に転じた。

次期は、売上D Iが3期連続で低下する見通しである。採算D Iは上昇、資金繰りD Iは、四半期ごとに好転、悪化を繰り返す見通しである。

産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I $\Delta 14.6$ （対前期比 $\Delta 1.1$ 低下） 次期予想 $\Delta 18.4$ （対前期比 $\Delta 3.8$ 低下）
- ・採算D I $\Delta 23.1$ （対前期比 0.1 好転） 次期予想 $\Delta 18.1$ （対前期比 5.0 上昇）
- ・資金繰りD I $\Delta 8.9$ （対前期比 3.5 好転） 次期予想 $\Delta 10.7$ （対前期比 $\Delta 1.8$ 悪化）

産業全体景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
30年1月～3月		$\Delta 21.0$ 		$\Delta 18.3$ 		$\Delta 10.3$ 
30年4月～6月		$\Delta 4.5$ 		$\Delta 16.3$ 		$\Delta 7.4$ 
30年7月～9月		$\Delta 13.5$ 		$\Delta 23.2$ 		$\Delta 12.4$ 
30年10月～12月		$\Delta 14.6$ 		$\Delta 23.1$ 		$\Delta 8.9$ 
31年1月～3月 （見通し）		$\Delta 18.4$ 		$\Delta 18.1$ 		$\Delta 10.7$ 

2 業種別景況

(1) 製造業

製造業は売上額D Iが大幅悪化































製造業では、売上額D Iが△2.9、採算D Iは△26.5、資金繰りD Iは△11.7となり、対前期比でそれぞれ14.7ポイント、5.9ポイント、5.8ポイント減少し、すべての指標が悪化・低下に転じた。特に売上額D Iは、2ケタのマイナスとなり、大幅な数値の悪化が見られた。

次期は、売上額D I、資金繰りD Iが、低下する見通しである。特に、売上額D Iは、今期同様、大幅に低下する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △2.9 (対前期比 △14.7 悪化) 次期予想 △14.3 (対前期比 △11.4 低下)
- ・採算D I △26.5 (対前期比 △5.9 低下) 次期予想 △25.7 (対前期比 0.8 好転)
- ・資金繰りD I △11.7 (対前期比 △5.8 悪化) 次期予想 △17.6 (対前期比 △5.9 低下)

製造業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
30年1月～3月		△24.9 		△12.5 		△12.2 
30年4月～6月		11.8 		△17.6 		△5.9 
30年7月～9月		11.8 		△20.6 		△5.9 
30年10月～12月		△2.9 		△26.5 		△11.7 
31年1月～3月 (見通し)		△14.3 		△25.7 		△17.6 

(2) 建設業

建設業は売上額D I、資金繰りD Iが2期連続で低下































建設業では、売上額D Iが $\Delta 16.0$ 、資金繰りD Iが $\Delta 4.0$ となり、対前期比でそれぞれ $\Delta 8.0$ ポイント、 $\Delta 4.0$ ポイント減少し、2期連続で低迷したがマイナスは小幅にとどまった。採算D Iは横這となった。建設業全体は、大きな流れとして、各指標とも好転と悪化を繰り返す状況が続いている。

次期は、売上額D I、資金繰りD Iは、好転する見通しであるが、採算D Iは横這から悪化となる見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I $\Delta 16.0$ (対前期比 $\Delta 8.0$ 低下) 次期予想 $\Delta 12.5$ (対前期比 3.5 好転)
- ・採算D I $\Delta 16.0$ (対前期比 0.0 横這) 次期予想 $\Delta 16.7$ (対前期比 $\Delta 0.7$ 悪化)
- ・資金繰りD I $\Delta 4.0$ (対前期比 $\Delta 4.0$ 低下) 次期予想 0.0 (対前期比 4.0 好転)

建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
	天気	値	天気	値	天気	値
30年1月~3月		$\Delta 25.0$ 		$\Delta 20.0$ 		$\Delta 12.0$ 
30年4月~6月		$\Delta 4.1$ 		$\Delta 12.0$ 		4.2 
30年7月~9月		$\Delta 8.0$ 		$\Delta 16.0$ 		0.0 
30年10月~12月		$\Delta 16.0$ 		$\Delta 16.0$ 		$\Delta 4.0$ 
31年1月~3月 (見通し)		$\Delta 12.5$ 		$\Delta 16.7$ 		0.0 

(3) 小売業

小売業はすべての指標が好転































小売業では、売上額D Iが△16.7、採算D Iは△36.2、資金繰りD Iは△16.6となり、対前期比でそれぞれ6.1ポイント、6.4ポイント、6.8ポイント改善し、すべての指標が好転に転じた。前期は、すべての指標が悪化したが、今期はすべての指標が2期ぶりに好転したが、採算D Iは厳しい指標が続いている。

次期は、採算D I、資金繰りD Iが上昇する見通しである。特に採算D Iの大幅な改善が見込まれる。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △16.7 (対前期比 6.1 好転) 次期予想 △22.9 (対前期比 △6.2 悪化)
- ・採算D I △36.2 (対前期比 6.4 好転) 次期予想 △25.0 (対前期比 11.2 上昇)
- ・資金繰りD I △16.6 (対前期比 6.8 好転) 次期予想 △14.5 (対前期比 2.1 上昇)

小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
30年1月～3月		△26.1 		△27.0 		△14.9 
30年4月～6月		△18.7 		△23.0 		△10.7 
30年7月～9月		△22.8 		△42.6 		△23.4 
30年10月～12月		△16.7 		△36.2 		△16.6 
31年1月～3月 (見通し)		△22.9 		△25.0 		△14.5 

(4) サービス業

サービス業の売上D I は好転と悪化の繰返し

サービス業では、売上額D Iが $\Delta 18.0$ 、資金繰りD Iが $\Delta 4.1$ 、対前期比でそれぞれ、3.2ポイント、8.6ポイント改善され、好転に転じ、採算D Iは、 $\Delta 15.3$ となり、1.3ポイント減少し2期連続で低下した。































また、売上額D Iは、4半期ごとに好転、悪化を繰り返している状況であり、資金繰りD Iは、3期連続の低下から改善され好転した。

次期は、採算D Iは、好転に転じる見通しであるが、売上額D I、資金繰りD Iは、悪化する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I $\Delta 18.0$ (対前期比 3.2 好転) 次期予想 $\Delta 19.4$ (対前期比 $\Delta 1.4$ 悪化)
- ・採算D I $\Delta 15.3$ (対前期比 $\Delta 1.3$ 低下) 次期予想 $\Delta 10.0$ (対前期比 5.3 好転)
- ・資金繰りD I $\Delta 4.1$ (対前期比 8.6 好転) 次期予想 $\Delta 8.3$ (対前期比 $\Delta 4.2$ 悪化)

サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
	天気	値	天気	値	天気	値
30年1月～3月		$\Delta 14.3$ 		$\Delta 14.3$ 		$\Delta 5.8$ 
30年4月～6月		$\Delta 2.8$ 		$\Delta 12.6$ 		$\Delta 9.9$ 
30年7月～9月		$\Delta 21.2$ 		$\Delta 14.0$ 		$\Delta 12.7$ 
30年10月～12月		$\Delta 18.0$ 		$\Delta 15.3$ 		$\Delta 4.1$ 
31年1月～3月 (見通し)		$\Delta 19.4$ 		$\Delta 10.0$ 		$\Delta 8.3$ 

3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	25.7%	工場建物、生産設備、 車両運搬具、付帯設備、 OA機器、 福利厚生施設、その他	8.6%	工場建物、生産設備 車両運搬具、OA機器
建設業	8.0%	建物、車両運搬具	8.0%	車両運搬具
小売業	12.5%	店舗、付帯施設、 OA機器、その他	8.3%	店舗、販売設備、 車両運搬具、付帯設備、
サービス業	19.7%	土地、建物、サービス、 車両運搬具、付帯設備、 OA機器、その他	8.3%	土地、建物、サービス 付帯施設、OA機器、 その他

4 経営上の問題点

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	原材料価格の上昇	21.9%
		需要の停滞	
	2位	生産設備の不足・老朽化	15.6%
建設業	1位	請負単価の低下、上昇難	25.0%
	2位	材料価格の上昇	18.7%
	3位	その他	12.5%
小売業	1位	販売単価の低下、上昇難	16.7%
	2位	消費者ニーズの変化	14.3%
		仕入単価の上昇	
	需要の停滞		
サービス業	1位	利用者ニーズの変化	18.3%
	2位	店舗施設の狭隘・老朽化	16.7%
	3位	材料等仕入単価の上昇	15.0%

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

平成30年10月から12月の第3四半期を対象とし、調査時点は平成30年11月15日。






(2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業35企業、建設業25企業、小売業48企業、サービス業72企業)。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

平成30年12月14日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

TEL : 052-562-0041